

武利及び丸瀬布地区に「虫のいえ」をつくろう

活動地域  北海道

つづける助成
3年目
実践

虫のいえの製作	1棟
武利の虫セミナーの実施	60人
今年度計画の達成度	100%
目標達成度	100%



「虫がいたよ!!」虫のいえからの虫出し

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

これまでは、虫に触れず逃げ出す子もいたことから、グループごとに作戦を立てさせ、係を決めて取り組みさせた。確実に虫がいることがわかってきたからできたこと。

■ 工夫した点

できるだけ子どもたちの活動として実施した。上級生の助けを借りて虫出しを実施した。木の中から出て逃げる虫をようやく捕まえて「虫に触れたー」という子もいた。

課題

この地域においても森林や昆虫の減少など自然が少なくなってきたが、子どもたちにまだ残っている身の回りの自然を体感させその素晴らしさを知らせることが課題である。

目標

地域に生息する昆虫(生物)の種類認知を2倍にし、虫に触れる・捕まえることができる子どもが30%増える。それとともに地域の豊かな自然を守る意識を育てる。

活動内容と成果

活動3年目を迎えた「虫のいえ」には順調に虫が入った。子どもたちが家に木を入れ観察・採集した虫の一部は、アクリル樹脂に封入し標本にした。残りはまた「いえ」に戻した。虫に触ることのできなかった子がこの活動で虫に興味を持ち触れるようになった。活動の様子は、資料化して標本とともに学校や公民館で展示し、参加していない子どもたちや保護者・地域住民にも見ていただいた。虫の数や種類の多さから、この地域にまだ豊かな自然が残っていることを理解してもらうことができた。



「アサマジミの幼虫」武利の虫フォーラム

全助成期間の活動を振り返って

「虫のいえ」は実践例がない中、試行錯誤を繰り返して4棟製作した。それぞれに虫が入り、30種250匹以上の虫を確認した。取組みに参加した子どもたちは活動が進むに連れて、虫に触れるようになり豊かな自然を体感することができた。触るのが苦手な子も、樹脂に封入した昆虫をじっくり観察することができた。地元での学校での展示では、自慢げに説明する姿がみられた。また、この機会に昆虫を飼育する子どももでてきている。



市街地に製作した「きのこの虫のいえ」

〒099-0203
北海道紋別郡遠軽町丸瀬布中町3番地
HP : <https://www.maru-mushi.com/>



今後の展望

昆虫館の来館者に「虫のいえ」の説明だけではなく、実際に木入れや虫出しの体験を実施することで、当地域の自然の豊かさ・昆虫の多さについて興味関心を深めてもらう。また報道や移動昆虫教室、昆虫館の見学で学校等からの問い合わせや製作の相談もあった。「虫のいえ」には、市街地においても木の中に虫が入ることが確認できたことから、武利地区から丸瀬布・遠軽町・近隣の街へとこの活動を広げていきたい。